23年度社会福祉施設等整備事業

道保健福祉部

道保健福祉部は、2023年度の社会福祉施設等整備事業の対象施設を明らかにした。22年度補正予算と23年度予算分を合わせて43施設が対象で、創設は17施設、改築は1施設、大規模修繕は9施設などとなっている。

22年度補正分が障害福祉で2施設、23年度予算分が障害福祉で20施設、高齢福祉で3施設、児童福祉で18施設を選んだ。

障害福祉施設では、ゆあみ会が岩見沢市内に共同生活援助施設の仮称シャイン・マスカットの創設を計画。高齢福祉施設では、明和会の特別養護老人ホームかおる園の大規模修繕が対象となっている。

管内別の施設内訳は次の通り。（カッコ内は施設名）

【22年度補正予算】

障害者福祉施設

◆改築

◇空知▽くるみ会（どんぐり）①砂川市②共同生活援助▽岩見沢清丘園（岩見沢清丘園）①岩見沢市②障害者支援施設

【23年度予算】

障害者福祉施設

◆創設

◇空知▽ゆあみ会（仮称シャイン・マスカット）①岩見沢市②共同生活援助

◇石狩▽ishihana（仮称BOULANGERIE SEKKA）①石狩市②就労継続支援A型

◇胆振▽クーバル（仮称クーバル）①厚真町②共同生活援助▽にわとりファミリー（にわとりファミリー）①苫小牧市②生活介護▽にわとりファミリー（にわとりファミリー）①苫小牧市②放課後等デイサービス▽伊達コスモス21（サポートじゃんぷ、やまぼうし）①伊達市②共同生活援助

◇上川▽新生会（仮称すずらんグループホーム）①美瑛町②共同生活援助

◇留萌▽Upward（放課後等デイサービスアップワード、相談支援事業所エイト）①留萌市②放課後等デイサービス

◇十勝▽ヒューマンエイド（STELLAⅢ）①幕別町②共同生活援助

◇釧路▽釧路のぞみ協会（仮称はしどいライフステージらふたあ）①釧路市②共同生活援助

◇根室▽根室すずらん学園（根室すずらん学園）①根室市②生活介護

◆大規模修繕

◇空知▽北海道光生会（ライフサポート美唄）①美唄市②障害者支援施設

◇後志▽札幌育成園（寿都浄恩学園）①寿都町②障害者支援施設

◇オホーツク▽北光福祉会（ひまわり学園）①遠軽町②障害児入所施設

◇オホーツク▽北海道療育園（ワークセンターぴぽろ）①美幌町②就労継続支援B型

◆生産設備近代化改修

◇空知▽芦別白光舎（芦別白光舎）①芦別市

◇空知▽芦別白光舎（芦別白光舎）①芦別市②社会福祉事業授産施設

◆拡張

◇空知▽芦別白光舎（芦別白光舎）①芦別市②社会福祉事業授産施設

◆修繕

◇石狩▽新篠津福祉会（ふれあいの苑）①新篠津村②障害者支援施設

◇胆振▽天寿会（北海道リハビリテーション療護部）①白老町②障害者支援施設

◇留萌▽新生会（おにしか更生園）①小平町②障害者支援施設

高齢福祉施設

◆大規模修繕

◇空知▽明和会（かおる園）①新十津川町②特別養護老人ホーム▽南幌福祉会（南幌みどり苑）①南幌町②特別養護老人ホーム

◇上川▽当麻柏陽園（当麻柏陽園）①当麻町②特別養護老人ホーム

児童福祉施設

◆創設

◇石狩▽江別市（仮称江別第一小学校区放課後児童クラブ）①江別市②放課後児童クラブ▽江別市（仮称・江別太小学校区放課後児童クラブ）①江別市②放課後児童クラブ▽江別市（仮称・東野幌小学校区放課後児童クラブ）①江別市②放課後児童クラブ▽江別市（仮称・大麻泉小学校区放課後児童クラブ）①江別市②放課後児童クラブ▽江別市（仮称いずみ野小学校区放課後児童クラブ）①江別市②放課後児童クラブ

◇後志▽小樽市（小樽市銭函小学校放課後児童クラブA）①小樽市②放課後児童クラブ

◇胆振▽登別市（仮称・幌別児童館）①登別市②放課後児童クラブ

◇日高▽（しずないひだか児童クラブ）①新ひだか町②放課後児童クラブ▽（しずないひだか児童クラブ）①新ひだか町②放課後児童クラブ▽（こうせい児童クラブ）①新ひだか町②放課後児童クラブ▽（こうせい児童クラブ）①新ひだか町②放課後児童クラブ

◇上川▽町放課後児童クラブ（比布町）①比布町②放課後児童クラブ

◆大規模修繕

◇胆振▽小牧市日新（）①苫小牧市②児童クラブ（苫小牧市タ）①苫小牧市②児童厚生施設▽・幌別児童②児童厚生

43施設対象、創設は17施設

ニセコ曽我に流通倉庫

八海醸造 6月着工目指す

建設予定地はニセコ町曽我138の11。同社所有地と近く取得予定の隣接地を合わせた6600平方㍍。

同社は21年、町内ニセコ地区に蒸留所を開業。貯蔵庫1棟も所有しているが、ウイスキー樽が貯蔵可能上限数に近づいている。

新たな施設は、原料となる地元農産物やウイスキーを保管・貯蔵するほか、札幌圏や道外に発送できる流通倉庫としての機能を持たせる。

S造、平屋、延べ795平方㍍の規模。設計はエスワークス建築設計が担う。10月末の完成を目指す。28年度までに2棟目の流通倉庫・貯蔵施設も建設する構想だ。

16日に開いた住民説明会で、八海醸造の海津博之専務取締役は「人が集う空間の形成、ニセコ農業の6次産業化に貢献したい」と意欲を示した。

物販など店舗棟も

【小樽】八海醸造（新潟県南魚沼市長森1051、南雲一郎代表取締役）は、ニセコ町曽我地区にウイスキー保管や発送などに使う流通倉庫・貯蔵施設の新築を計画している。6月の着工を目指し、今後施工業者を決める。2024年度には物販や飲食ができる店舗棟も新築する予定だ。

RC造、10階、延べ2604平方㍍の規模。住戸は3LDKを中心に計27戸、エレベーターは1基設ける予定だ。共用施設としてシアター&カラオケルームや屋上庭園などを整備。設計は自社で担った。

建設地は札幌市中央区南12条西12丁目809の2の敷地984平方㍍。周囲は住宅街で市電西線11条停留場が徒歩圏だ。

一括して畠山建設

日本グランデ

南12西12に分譲MS新築

日本グランデ（札幌市中央区大通西5丁目1の1、平野雅博社長）は、札幌市幌西地区に新築する分譲マンションを主体、設備一括で畠山建設に依頼し、着工した。2024年2月末の完成を目指す。

9カ月ぶり上方修正

局産経 1月の管内経済総括判断

北海道経済産業局は16日、主に2023年1月の経済指標を基にした管内経済概況を発表した。総括判断を「持ち直しの動きがみられる」とし、前月の「持ち直しの動きに弱さがみられる」から引き上げた。上方修正は22年6月の公表分以来、9カ月ぶりとなる。本道経済にとって比重の高い個人消費分野の伸びが、総括判断を押し上げる結果となった。

個人消費は前月の「緩やかに持ち直している」から「持ち直している」に変更。業態別販売額はホームセンターを除く6業態で前年を上回った。スーパーは値上げの影響もあり前年同月比で4・8%増加。百貨店は25%増、コンビニエンスストアは5・7%増、ドラッグストアは10・2%増と好調に推移した。家電大型専門店も4・5%増で7カ月ぶりのプラスとなった。

前年は大雪による客足減少があり、反動増の側面もある。逆にホームセンターは除雪用品が売れたことの反動減が出て、前年を1・2%下回った。

生産活動は鉱工業生産指数が前月比0・6%減と3カ月続けて低下し、「弱い動き」で据え置いた。公共工事は4カ月連続、住宅建設は3カ月連続でそれぞれ「減少した」「持ち直しの動きに弱さがみられる」とした。民間設備投資は「増加している」、観光は「緩やかに改善している」、雇用動向は「緩やかに持ち直しの動きがみられる」だった。

カネト産商と間建設が合併へ

5月にも

【函館】カネト産商（函館市田家町15の12、齊藤大介社長）と間建設（函館市東山3丁目14の25、三原明彦社長）は、5月にも合併する。傘下の齊藤建設の人員体制強化が目的。存続会社はカネト産商で、間建設は解散する予定だ。

カネト産商は建設資材販売業として1969年に設立。現在は齊藤建設などの持ち株会社となっている。

間建設は79年設立で、コンビニエンスストアや寺社などの建築を中心に手掛けてきた。主な格付けは、道建設部が建築B、函館市が建築Aなど。2022年3月期の完工高は2億6376万8000円。17年にカネト産商が全株式を取得し、子会社化した。

齊藤建設は4月1日から顧問に就く三原社長ら5人を雇い入れる。

合併の方針について齊藤社長は「今後を見据えた上で間建設の経営が健全なうちに引き受けることにした」とし、「木造建築を中心にノウハウや強みがある」と評価している。

タカフジ興産の買掛金決済代行

北洋銀

北洋銀行は16日、建築設計・施工管理を手掛けるタカフジ興産（本社・札幌）との間で、買掛金の支払いを代行する「北洋一括ファクタリングシステム」の取り扱いを始めた。タカフジ興産は、社外から物品を調達する際などに支払手形の振り出しが不要になる。取引がペーパーレスになることで、印紙代や事務経費を節約できる。

物品を納入した取引先業者は、タカフジ興産への売掛債権を北洋銀に譲渡することで、決済日前でも北洋銀から代金を受け取れる。タカフジ興産は債権期日に北洋銀に代金を支払う仕組み。

同社は金属製建具工事業、タカフジ（同・札幌）のグループ会社。タカフジは2022年6月に同様の仕組みを導入している。

1月機械受注は9.5%増の9296億円

2カ月連続プラス

内閣府が16日発表した2023年1月の機械受注統計（季節調整値）によると、企業の設備投資の先行指標となる民間需要（変動の大きい船舶・電力を除く）の受注額は前月比9・5%増の9296億円だった。2カ月連続のプラス。基調判断は「足踏みが見られる」を維持した。

民需の内訳は、非製造業が19・5%増の5399億円。運輸業・郵便業や金融業・保険業で電子計算機といったデジタル投資が増えたほか、建設業で建設機械が増加した。一方、製造業が2・6%減の3930億円。非鉄金属、電気機械など幅広い業種が減少した。

内閣府は世界経済の減速や半導体需要の低下などを背景に「製造業の減少傾向が続いている」（景気統計部）と指摘した。

官公需や外需などを加えた受注総額は10・2%減の2兆5274億円だった。電子・通信機械や鉄道車両の落ち込みで外需が25・2%減となったのが主因。

未来志向の基金創設へ

日韓経済界

日本経済団体連合会と韓国の全国経済人連合会（全経連）は16日、政治・経済・文化などの分野で未来志向の日韓関係構築に向けた研究や事業を共同で進めるため、「未来パートナーシップ基金」を創設すると発表した。関係構築に向けた道筋を確固たるものにするのが狙い。

取り組むのは、両国の課題と位置付ける自由で開かれた国際秩序の維持・強化、資源・エネルギー安全保障の共同対応、GX（グリーントランスフォーメーション）、少子高齢化など若手人材の定されている。

岸田文雄尹錫悦大統談して関係を付けようと

緩和出 赤字の

黒田東 日の参院財 で、大規模 出口局面で 化が懸念さ について「 能性はある 金融情勢に まなことが と述べた。 有国債の時 いないので スになる可 少ない」と 過に陥る リの見方を示 氏（維新）

北電と 初任給

北海道電 カネットワ 北海道電力 2023年 渉が妥結し 関し「若干 均1500 改善を実施 した。労組 000円の た。初任給 じ5500 を決めた。

賞与は年 求に対して した。初任 対象は高卒 専卒、大学